事業名：千葉県通学路推進事業（学校安全総合支援事業）
モデル地域：勝浦市　　拠点校：勝浦市立勝浦中学校

所轄教育委員会：勝浦市教育委員会　電話番号：０４７０－７３－６６６４

１　モデル地域の現状

○モデル地域名：勝浦市
○学校数：幼稚園１園　小学校６校
　　中学校１校
○取り組む領域：交通安全
○取り組む課題：交通安全法規の重要性の再認識

２　モデル地域の安全上の課題

統合により通学区域が市内全域と広範化し、通学手段も電車、路線バス、スクールバス、自転車等多様化している状況において、交通安全法規の重要性を再認識させるとともに、再認識した交通安全法規への考えを継続して保持できるようにする。

３　取組の概要

(1)実施概要

実施時期	計　画　事　項	参加者
５月	○安全主任会議	市教委・学校
８月	○安全主任会議	市教委・学校
10 月	○実践委員会	市教委・学校・県学校安全保健課・所管教育事務所
11 月	○スケアードストレート交通安全教室	市教委・学校・勝浦警察署・勝浦交通安全協会・スクールガード

４　具体的な取組

(1)学校安全の中核となる教員の資質能力の向上に係る取組について

①　安全主任会議における情報共有

５月、８月に安全主任会議を開催。本事業の趣旨と事前・事後学習について協議を行い、各学校における取組について共有を図った。

＜実践委員＞

千葉県学校安全保健課、東上総教育事務所指導主事、勝浦市教育委員会、上野小学校安全主任、興津小学校安全主任、勝浦小学校安全主任、郁文小学校安全主任、豊浜小学校安全主任、総野小学校安全主任、勝浦中学校安全主任

②　スケアードストレート交通安全教室の開催

拠点校である勝浦中学校を会場にスケアードストレート交通安全教室を実施。

日時：平成 30 年 11 月 26 日
内容：模擬交通事故による交通安全教室
参加者：上野小学校６学年児童、興津小学校６学年児童、勝浦小学校６学年児童、郁文

小学校６学年児童、豊浜小学校６学年児童、総野小学校６学年児童、勝浦中学校生徒、勝浦警察署、勝浦交通安全協会、各学校スクールガード

参加人数：３４６人

(2) 学校安全の取組を評価･検証するための方法について

①スケアードストレート交通安全教室の実施前後での児童生徒の交通安全に対する意識の変化を調査するため、事前・事後調査を実施した。

日常における交通安全への考え方に対する調査、交通事故の原因についての理解度に対する調査、自転車使用におけるヘルメット着用に対する調査、自転車保険に対する調査において、大幅な意識の改善が見られた。

６　成果と今後の課題

【成果】

・事前事後調査の結果から、参加した児童生徒の交通安全に対する意識について改善が図られた。

【課題】

・年々変化する交通事情や交通法規に則した安全意識を児童生徒に醸成するには、本事業のような交通安全教室の定期的な実施が効果的であることから、定期的に実施できる体制の構築が必要と考える。